

2023（令和5）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（保育学科）

保育学科 白府士孝

2023年3月14日に卒業した学生を対象に実施したアンケート調査の結果について、保育学科41名（回収率100%）の内容を以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が58%(昨年度49%)、「4点」が同じく29%、「3点」が12%であり、「2点」「1点」はいなかった。昨年度より「5点」が9%ほど上昇し、8割以上の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述で回答を求め、今年度も「実習での経験」について記述したものが大半を占めた。今年度の特筆すべき点として、「グループワークによる共同的な学びによって成長できた」という意見が多く見られた。また、昨年度と同様に「コミュニケーションの力」に関する回答も見られた。「試験対策」「学友会」といったコメントもいくつか見られた。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は昨年度と同様に「短大の勉強」(32人)が最も多く、次いで「アルバイト」(24人)、「資格習得」(21人)、「友人づくり」(14人)、「学内行事参加」(11人)が多かった。昨年度との大きな違いは「アルバイト」と回答した学生が多くなったこと、また「学内行事参加」を選択した学生が多くなったことが挙げられる。窺

設問5「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問6「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について5点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。「5点」と回答した学生は46%、「4点」と回答した学生は41%であり、「5点」と回答した学生と合わせると87%の学生が本学の教育内容に概ね満足していることが示された。なお、「3点」と回答した学生は7%であり、「2点」および「1点」と回答した学生は0%であった。

評価できる点では、特別支援教育・造形・教材づくりなど「実践的な知識や技能を学ぶことができた」や「先生方が親身になって相談や指導にあたってくれた」、「就職相談や就職のサポートが充実している」の回答が多数あった。さらに、「児童発達支援士などの民間資格も取れるとよかった」、「特別支援教育の学びを深められるような選択科目があればよかった」など主体的な学びをさらに促進できる環境づくりを求めるコメントも見られた。評価できない項目として、少数ではあるが「教員による対応の違い」や「連絡の共有が足りていない」など一部の教員に対する不満や改善の思いが示されていた。

設問7「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が48%、「4点」が29%であり、78%の学生が勧めると回答し、昨年度と同様の割合であった。

設問8「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が51%、「4点」が29%であり、8割以上の学生が希望通りの進路だと感じている。「5点」の割合は昨年度に比べ4ポイントほど上昇した。

設問9「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が68%、「4点」が26%であり、9割以上の学生が入学してよかったと感じていることが分かり、昨年度よりも大きく増加した。「5点」の割合は4ポイントほど上昇した。一方で、「3点」の回答が4%であった。

設問10「入学してよかったと思う理由」について

入学してよかったと思う理由については、まず「先生の優しさ、親切さ、信頼感」を理由とした回答が最も多く見られた。また、「友人との楽しい経験、一緒に頑張った経験」を理由とする記述も多く見られた。次に「効率的な学びができたこと、専門性を身につけられたこと、自らの成長を感じられたこと」を理由とした回答が多く見られた。

全体を通して

アンケート全体を通し、「入学してよかった」と回答した学生が9割を超え、学生は学校生活を概ね満足していることが窺える。そして昨年度に比べ、どの項目も上昇傾向にあり、質の高い教育サービスを提供することができていると考える。

また、保育学科の「教育内容」についていくつか考察すると、設問3や設問5の結果から、授業や実習を通じて保育に関する知識・技能を獲得すること、さらにはそれらの知識・技能を生かしてコミュニケーションを図ることについては高い水準で維持できていると考える。今後は、授業における発表やプレゼンテーションの経験、自分自身の力で教材や遊びをつくる経験を充実させることで、保育を行う上での思考力・判断力・表現力を学生が進んで身に付け向上することができると考える。そのためには、多様な場面で自らの成長を感じられるように、一人一人の学生の思いに寄り添いながら学習面・生活面の両面から支援し、保育学科の教育サービスの向上を図っていく必要がある。

設問4では、学習への取り組み状況について変容は見られなかったが、学習以外の学生生活の質が向上していることが窺われた。

さらに、学習以外の「サークル」、「学友会」、「学内行事参加」の経験に関する記述や評価が増えており、コロナ禍の中で学生主体の活動の方法を模索してきた結果が少しずつ現れていると思われる。今後も教育サービスの向上を図るとともに学生生活が充実するようにサポートすることが必要である。

設問8では、8割以上の学生が希望通りの進路だと感じており、S・L教員を中心とした、学生一人一人のニーズに応じた就職支援の体制を整えた結果であると考えられる。

設問9、10では、9割以上の学生が入学してよかったと感じていることが分かり、日々の授業力の向上を図るとともに、卒後を見据え丁寧な進路指導や社会人教育を行い、大学生活が充実するように一人一人の実態に応じたサポートが重要である。

自由記述欄では、本学を評価している回答が大半であるが、評価していない回答も極めて少数であるが見られた。全体の評価自体は高いことから、教育の質が向上した点に目を向けて維持していくとともに、改善が求められる点についてはより多くの学生が満足できるようにできるところから即急に対応する必要がある。

2023（令和5）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（食物栄養学科）

食物栄養学科 伊木亜子

2024年3月14日に卒業した学生を対象としたアンケート調査の結果について、食物栄養学科51名（回収率93%）の内容に関して、以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が47%（昨年度40%）、「4点」が35%、「3点」が18%であり、「2点」、「1点」はいなかった。昨年度より「5点」が7ポイントほど上昇し、約8割の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述で回答を求めた。回答数38件のうち、53%が資格取得や学業など「専門知識や技能の獲得」に関するもので昨年と同様であった。次いで、協調性と主体性の獲得や、努力することなど「行動変容」に関する成長実感が32%であり、過去2年間で2倍に増加した。また、「校外実習や教育実習での経験」に関するものが8%であった。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」が最も多く（38人）、次いで「資格習得」と「アルバイト」が多かった（どちらも26人）。一方、「ボランティア活動」（8人）、「学内行事参加」（7人）、「クラブ・サークル活動」（6人）であり、昨年と同様であった。

設問5「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問6「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について5点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。「5点」が41%、「4点」が37%、「3点」が16%、「2点」が6%、「1点」と回答した学生は0%であった。「4点」以上は79%であり、学生が本学の教育内容に概ね満足していることが示された。

評価できる点では「栄養士や各種資格取得のための支援が充実していること」が挙げられ、わかりやすい授業展開のための工夫や、苦手を克服できる支援体制、実習による技術の向上などが示された。また、S・L担任制や就職支援体制、および学生生活に関わる教員の支援が挙げられた。一方、評価できない、不足している点では、授業方法や採点方式が教員によって異なる点について意見があった。また設備についてWi-Fiが使用できない点があった。

設問7「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」およびについて

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が31%、「4点」が35%、「3点」が26%、「2点」が8%であった。

設問8「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が53%、「4点」が26%であり、概ね希望通りの進路だと感じていることが示された。

設問9「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が61%、「4点」が18%、「3点」が18%、「2点」が4%であった。

設問10「入学してよかったと思う理由を記載してください」について

入学してよかったと思う理由として「学修と資格取得」に関する意見が47%、「友人との出会いや充実した学生生活と経験」に関する意見が33%であった。その他、教員の支援が手厚いことや、自立できたことが示された。

全体を通して

アンケート全体を通し、「成長できた」、「入学してよかった」と感じている学生が8割であり、本学の教育内容に対する満足度は2022年度より低下したが、過去3年間において平均的であった（2022年度は9割、2021年度は7割）。実習や課題を通じて、調理技術やコミュニケーション能力など栄養士に必要な能力を身に付け、自己効力感が高められた結果、「卒業後の進路は希望に沿っている」という回答に結びついたと考える。

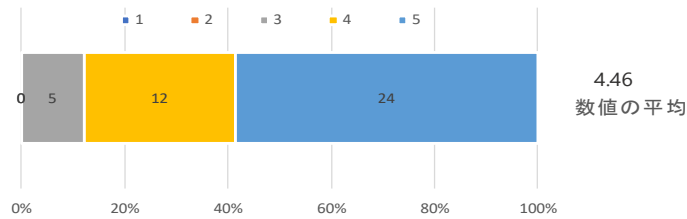
学生生活に力を入れて取り組んだ項目は、「短大の勉強」が最も多く、サークル活動や学内行事、ボランティア活動への取り組みは少なく、昨年と同様の傾向であった。1年時までコロナ禍により学生生活の制限があったため、学内行事や課外活動などの集団で取り組む機会が失われたことが一因に考えられる。

満足度では、学業や資格取得、就職支援などの学生が希望する取り組みに対して支援を得られたことが高評価につながったと考える。また、入学してよかったと実感した学生は、学業と資格取得の支援や、学生生活が楽しく充実していたことを理由に挙げており、満足度を高めたことがわかる。一方、本学を「勧めたい」という意見は7割弱であり、学生の満足度が他人へ勧める動機として必ずしも一致するものではないことが窺える。

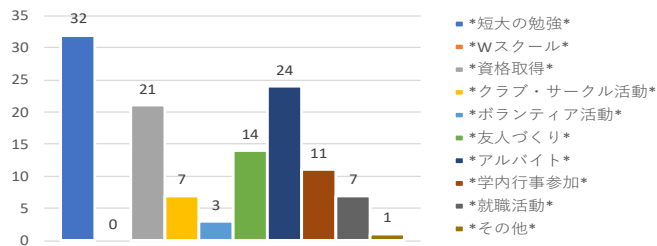
以上より、学生が成長を実感し満足度を高め、卒業生が本学を強く勧めたいと考えられるよう、教育と就職に対し丁寧な支援を継続するとともに、楽しく充実した学生生活を実現する機会を提供することが重要である。

令和5年度 卒業時アンケート調査 【保育】 41 応答

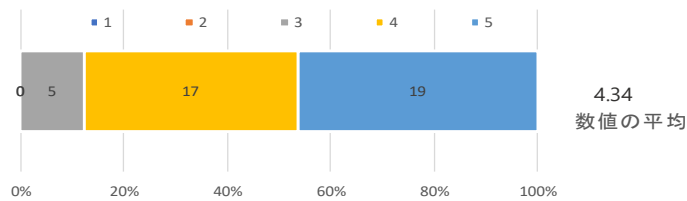
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



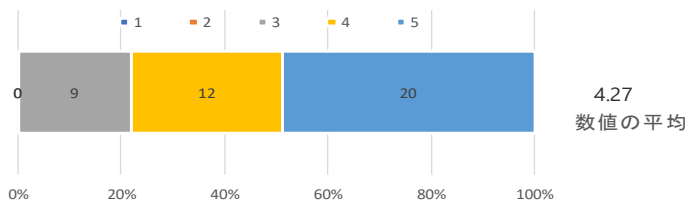
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。
(複数回答可)



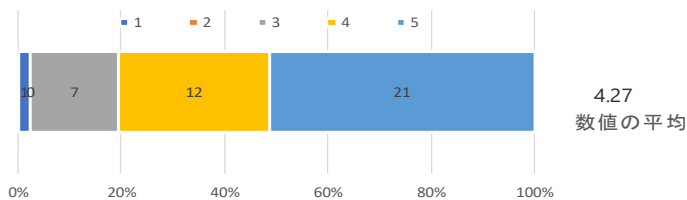
5 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



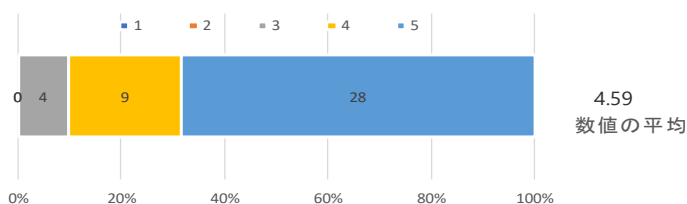
7 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。



8 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

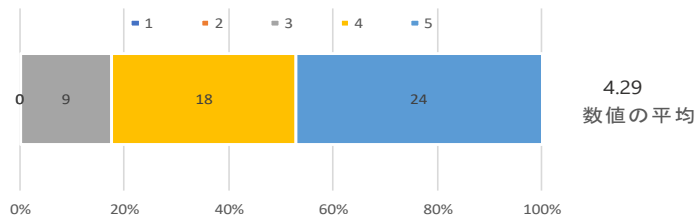


9 函館短期大学に入学してよかったと思いますか。

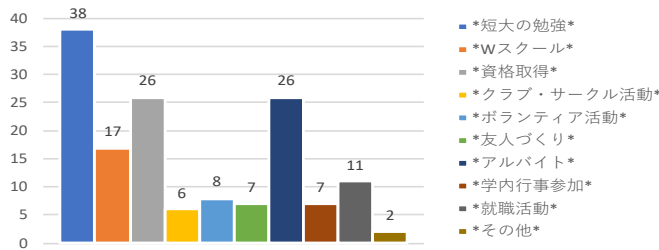


令和5年度 卒業時アンケート調査 【食物】 51 応答

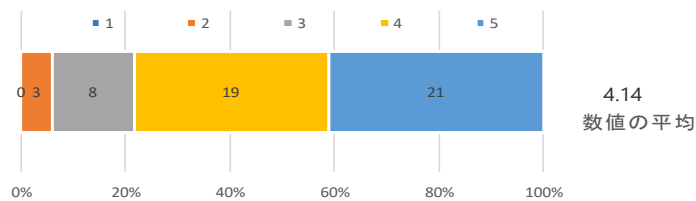
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



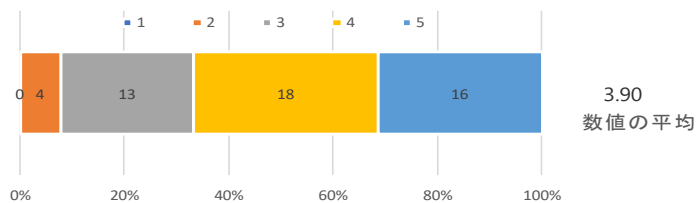
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。
(複数回答可)



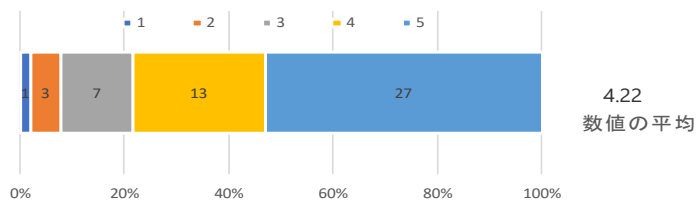
5 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



7 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。



8 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。



9 函館短期大学に入学してよかったと思いますか。

